

# 板倉 克典 議員

## 日本共産党弥富市議団



### 問 スマイル教室をやめないで

### 答 事業見直しにより決定した

**問** スマイル教室の廃止は、莫大な予算がかかる JR 名鉄弥富駅橋上駅舎化に向けたコスト削減の一環か。

**答** (健康福祉部長) 事業開始から 10 年で、市のニーズに合った介護予防、生活支援サービスの見直しを行い事業終了とした。

**問** スマイル教室をやめずに継続を。

**答** 継続の予定はない。

**問** 加齢性難聴者への補聴器購入助成の考えは。

**答** 引き続き国等へ要望していく。

**問** 後期高齢者医療健康診査で、認知症の検査を市の検診として実施する考えは。

**答** 生活習慣病や心身機能低下の予防事業を進めるため、導入は考えていない。

**問** 介護予防事業の意義は。

**答** 高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営み、健康寿命を延ばすことが豊かな老後に繋がるものと考えている。



### 問 新名鉄弥富駅北口にタクシーを

### 答 情報提供を行っていく

**問** 近鉄弥富駅前のタクシー不足をどう認識しているか。

**答** (健康福祉部長) 介護高齢課窓口でもタクシーの予約が取れないと聞いており、市民の移動手段不足を認識している。

**問** 新しくなる JR 名鉄弥富駅北口では、どのタクシー会社が乗り入れ予定か。

**答** (都市整備課長) 今後、事業者と協議していく。

**問** 名鉄弥富駅北口に名鉄タクシーを誘致する考えは。

**答** 駅前広場整備の進捗状況により情報提供を行っていく。

**問** 令和 6 年度の高齢者等福祉タクシー料金助成利用券の総配布枚数は。

**答** (健康福祉部長) 4 万 1,364 枚。

**問** 総使用枚数は。

**答** 1 万 2,902 枚。

**問** 福祉タクシーの申請依頼をタクシー会社に行っているか。

**答** 令和 7 年 11 月に 3 社に問い合わせたが、運転者不足や事業所から遠いなどの理由で断りを受けた。

**問** 高齢者等福祉タクシー料金助成事業の意義は。

**答** 高齢者の日常生活を容易に行い、福祉の増進を図ることを目的とし、介護予防を期待するもの。



▲近鉄弥富駅南口タクシーのりば